



New Year Greeting 2026

新年のごあいさつ

2026年が始まりました。1年のスタートということで、今回の特集では各院長に今年の「抱負」を聞いてみました。



医療法人社団 済安堂 理事長
井上眼科病院 院長

井上 賢治



お茶の水・井上眼科クリニック
院長

天野 史郎

今年の抱負は?

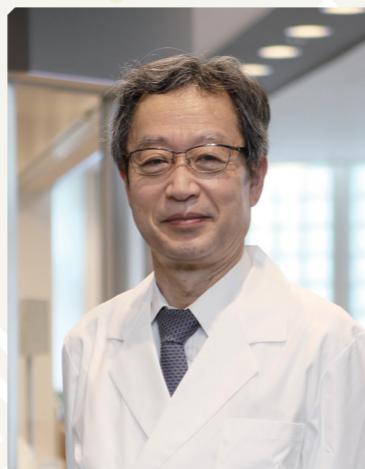
Q 院長として…

今年は、更なる医療水準の向上、外来での待ち時間短縮に取り組みます。

Q プライベートでは…

健康の維持、趣味(ゴルフ、ワイン等)の充実に努めたいと思います。

明けましておめでとうございます。
昨年は、西葛西新病院が開院10周年という節



西葛西・井上眼科病院
院長

溝田 淳

今年の抱負は?

Q 院長として…

チーム一丸となり、昨年を上回る診療実績を目指して、より良い医療を提供してまいります。

Q プライベートでは…

無病息災。

明けましておめでとうございます。
昨年は、西葛西新病院が開院10周年という節目を迎えて、記念式典では江戸川区をはじめ、多くの医療連携先の先生方にご臨席いただきました。これもひとえに、患者さまならびに連携先の皆さまから温かいご支援とご協力の賜物であり、あらためて深く感謝申し上げます。

2025年は白内障手術2700件ほど、網膜硝子体1000件近くの手術を実施いたしました。現在、当院では診察の待ち時間対策をはじめ、小児眼科のさらなる充実、外眼部疾患(眼瞼下垂・内反症など)に対する手術の拡充を目標に、日々取り組んでおります。

当院は一般眼科の診療に加え、12の専門外来を通じて、地域の皆さまの大切な「目の健康」を守る医療の提供に努めております。引き続き、地域の医療機関と連携を密に患者さまにとって頼れる病院を目指してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いします。

明けましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。
さて、昨年を振り返りますと、井上眼科病院グループとしましては、西葛西の新病院リニューアル10周年記念式典の開催、近視治療の新たな取り組みや白内障手術の体制強化など多くの挑戦と成果に恵まれた一年でした。
本年2026年は井上眼科病院創立145年を迎えます。加えて、お茶の水・井上眼科クリニック開院20年、大宮・井上眼科クリニック開院10周年、そして広報誌創刊40周年と節目が重なる特別な一年となります。これもひとえに、皆さまの温かいご支援とご協力の賜物であり、あらためて深く感謝申し上げます。

「見える」との喜びを支え、患者さまの人生の質を高める医療の実践——それが、井上眼科病院グループが創立以来大切にしてきた使命です。

私たちはその原点を忘れず、変化の時代においても確かな医療と温かな人間的ケアを両立しながら、次の節目である創立150年へ向けて一歩一歩着実に歩みを進めてまいります。

本年も、皆さまの変わぬご厚誼とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

明けましておめでとうございます。
皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いします。

昨年は、小児の近視治療の充実、多焦点レンズ相談外来の開設、そして角膜移植に代わる再生医療の新治療など、より先進的で質の高い医療の提供を目指し取り組んでまいりました。

本年は、当クリニックが井上眼科病院に隣接する新お茶の水ビルディングに開院してから20年という節目の年を迎えます。当初より「誰もが使いやすく、より安全な環境」という理念に基づき、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた病院づくりに努めてまいりました。建物や設備といったハード面の改善には限りがありますが、職員一人ひとりの持つ「ボスピタリティ」というソフト面は、常に磨き続けることができます。今年もさらに「心のユニバーサルデザイン」を深化させ、すべての方にとつて安心できる医療サービスを提供できるようスタッフ一同一層の努力を重ねてまいります。

明けましておめでとうございます。
昨年は、西葛西新病院が開院10周年という節目を迎えて、記念式典では江戸川区をはじめ、多くの医療連携先の先生方にご臨席いただきました。これもひとえに、患者さまならびに連携先の皆さまから温かいご支援とご協力の賜物であり、あらためて深く感謝申し上げます。

2025年は白内障手術2700件ほど、網膜硝子体1000件近くの手術を実施いたしました。現在、当院では診察の待ち時間対策をはじめ、小児眼科のさらなる充実、外眼部疾患(眼瞼下垂・内反症など)に対する手術の拡充を目標に、日々取り組んでおります。

当院は一般眼科の診療に加え、12の専門外来を通じて、地域の皆さまの大切な「目の健康」を守る医療の提供に努めております。引き続き、地域の医療機関と連携を密に患者さまにとって頼れる病院を目指してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いします。

Q 院長として…

チーム一丸となり、昨年を上回る診療実績を目指して、より良い医療を提供してまいります。

Q プライベートでは…

無病息災。

今年の抱負は?

Q 院長として…

全職員と力を合わせ、患者さまに納得いただける診療を健康維持に努め、安心して過ごせる一年を心がけてまいります。

Q プライベートでは…

牡蠣とブロッコリーの オイスター炒め



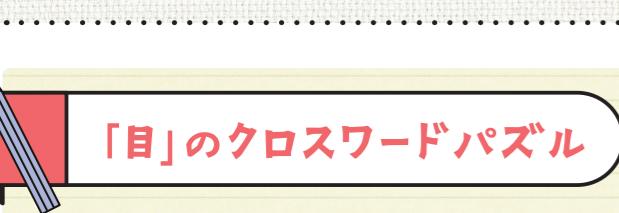
時間 30分 難易度 ★★★☆☆

《材料》2人分
●ブロッコリー…150g
●牡蠣…100g
●ムキエビ…80g
●長ネギ…40g
●塩…少々
●こしょう…少々

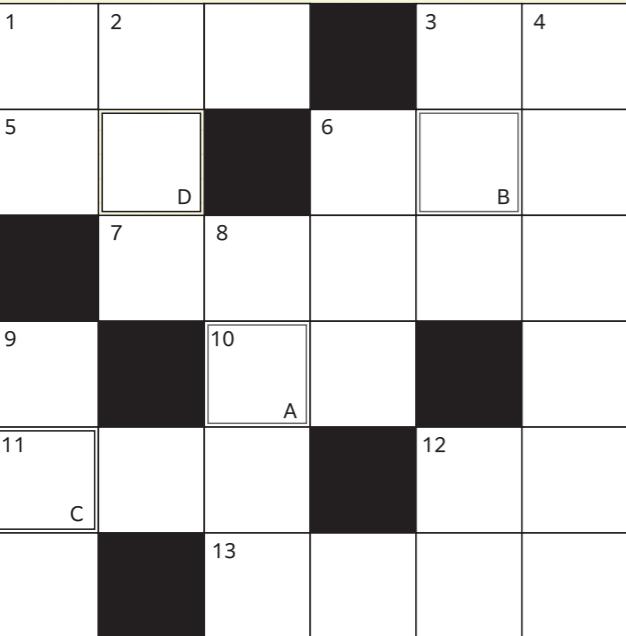
●片栗粉…小さじ4
●サラダ油…大さじ1
●オイスターソース…大さじ2
●酒…大さじ2
●醤油…小さじ1
●水…大さじ2



過去レシピは
こちらから



「目」のクロスワードパズル



A B C D 答え

タテのカギ

- 現在→未来
- 日本史上初の女帝「○○○天皇」
- 関西地方では関東焼きと呼ばれる鍋料理
- 今までは177で聞けた電話サービス
- 燃えないゴミは不燃、燃えるごみは？
- 日の丸弁当の真ん中にあるもの
- 「金色夜叉」の舞台になった温泉地
- マグロの脂がのった部位

ヨコのカギ

- 視界がぼやけて良く見えない目の○○○
- 前足を手にのせる犬の芸
- 池で泳ぐ美しい観賞魚
- 冷蔵庫やエアコンは「白物○○○」
- 女性ホルモンの減少で不調になる時期
- コットン。○○棒
- 野菜は畑、米は？
- 歩くこと。駅から○○10分
- 新婦のお相手

抽選で5名様に
素敵なプレゼントを
差し上げます！

管理栄養士の中井さん考案

× 目の健康レシピ ×

本格的に冷え込む日が増えてきました。今回はブロッコリーと牡蠣を使用した料理をご紹介します。

《作り方》

- ブロッコリーは食べ易い大きさに分けさっと茹でる。長ネギは斜め薄切りにする。
- 牡蠣は流水で洗い水気を拭き取り、塩こしょうを振り片栗粉1/2量をまぶす。
- ムキエビは背ワタを取ってボールにいれ、片栗粉大さじ1(分量外)、水大さじ1(分量外)、塩少々を入れてよく揉む。流水で洗い、キッチンペーパーで水気を取って、残りの片栗粉をまぶす。
- フライパンにサラダ油を熱し、牡蠣を炒める。牡蠣に半分程度火が入ったら③を加えて更に炒める。
- 牡蠣と海老に、ほぼ火が入ったら①を加えて軽く炒める。
- 最後にⒶを加えサッと炒めたら完成。

《栄養成分値》1人分

- | | | |
|-------------|---------|---------------|
| ●たんぱく質15.2g | ●脂質7.3g | ●エネルギー183Kcal |
| ●炭水化物15.4g | ●塩分3.5g | |

EYE'S POINT!

ブロッコリーのルテインや海老のアスタキサンチンは抗酸化作用があり、加齢黄斑変性や白内障の発症リスク軽減に期待できます。牡蠣を加えると、網膜の保護・疲れ目の回復に有効な亜鉛やタウリンも一緒に摂れ、目の健康維持におすすめの一品です。

レシピ考案…栄養課 中井剛(西葛西・井上眼科病院)

INFORMATION

お茶の水

新しい角膜移植治療「ビズノバ」を開始しました



2025年10月より、当院では水疱性角膜症に対する新しい治療法として、再生医療等製品「ビズノバ」を用いた角膜移植手術を開始いたしました。水疱性角膜症は、角膜の内側にある「角膜内皮細胞」の数が減少することで発症する病気です。角膜内皮細胞は体内で再生することができないため、病気が進行すると角膜が白く濁り、視力の低下や失明につながることがあります。「ビズノバ」は、水疱性角膜症による角膜の濁りや視力低下の改善が期待できる、世界で初めて承認された再生医療等製品です。眼内に薬剤を注射する手術であるため、従来の角膜移植と比べて切開が小さく、体への負担が軽いことが特徴です。また、移植手術をより計画的に実施できるようになりました。

グループ

第10回お茶の水耳鼻咽喉科・眼科セミナーを開催



2025年10月、耳鼻咽喉科専門の神尾記念病院と合同で、「第10回 お茶の水 耳鼻咽喉科・眼科セミナー」を開催いたしました。今回のテーマは「小児の検査と治療」。当院からは永野雅子医師(井上眼科病院)が『小児の近視について(進行予防など)』をテーマに講演を行いました。講演では、近視が将来的に引き起こす可能性のある目の病気のリスクや、小児期における近視進行抑制の重要性について解説。今年国内で承認された新しい治療薬「リジュセアミニ」の有効性についても報告しました。最新の治療情報に触れつつ、「目・耳・鼻」というそれぞれの専門分野の知見を共有し、地域医療のさらなる発展につながる貴重なセミナーとなりました。

お茶の水

2025年10月より竹山晃一医師が入局しました



竹山 晃一 医師

東邦大学医学部卒業、東邦大学医療センター大橋病院(初期研修)、東邦大学医学部眼科学講座を経て当院に入局。

ごあいさつ

一般外来を担当させていただいております。患者さまの悩みに寄り添って医療を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願い致します。

145周年記念ロゴを
投票受付中です。
ぜひご参加を！



応募締切:2026年2月28日(土)まで

※お電話での応募は受け付けておりません。

※賞品発送をもって当選発表に代えさせていただきます。

読者アンケートご協力のお願い

より良い誌面づくりのため、皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。ご回答いただいた方の中から、毎号抽選で5名様に当院オリジナルのノベルティをプレゼントいたします。今回は145周年記念ロゴを決める投票も受付中です。皆さまの一票で記念すべきロゴが決まります。たくさんのご応募お待ちしております。